

SDGs 私募債を発行

成田市に10万円寄付



【千葉】ロジックスライン(沢田秀明社長、千葉県成田市)は、京葉銀行SDGs(持続可能な開発目標)寄付型私募債を発行した。これに合わせて同行が受け取る手数料の一部を成田市に寄贈。3月29日に寄付金贈呈式を行った。同行が取り扱う同私募債を発行する物流企業は5社目。寄付金は新型コロナウイルス感染症予防対策費などに役立ててもら

コロナ対策など役立て

債を発行する物流企業は5社目。寄付金は新型コロナウイルス感染症予防対策費などに役立ててもら

ロジックスライン

付金の目録を手渡した。

沢田氏は「企業目標としてSDGsを考慮した取り組みを掲げている。成田市は私の出身地であり、会社の本社を構える地でもある。3年前からは成田市観光PRトラックを走らせており、全国の多くの人に成田の魅力を知ってもらいたい。新型コロナウイルス対策に努めつつ、一日も早く安全な生活に戻れるよう願っている」とあいさつした。

同行SDGs寄付型私募債は発行企業から受け取る手数料の一部(私募債発行額の0.2%)を拠出し、地方公共団体や医療・福祉施設、学校などに寄付を行うもの。寄付先は発行企業が選ぶことができ、地域経済及び社会の発展に寄与している。発行企業は3月末時点で87社。ロジックスラインは同私募債5千万円を発行し、市には10万円を寄付した。

寄付金贈呈式には沢田社長のほか、京葉銀行の小坂裕巳常務執行役員や成田市の小泉一成市長らが出席。小坂氏から沢田氏に私募債発行の記念の盾と感謝状を、沢田氏から小泉氏に寄

目録を手に記念撮影に臨む沢田社長(左から4人目)や小泉成田市長(その右隣)

同社はSDGsの取り組みの一環として、運転者職場環境良好度認証制度(働きやすい職場認証制度)の取得や健康経営優良法人の認定を目指す。更に、4月からはホームページ(HP)にSDGs特設ページを設ける計画で、本格的に取り組むを進めていく。